

教員側のレポート課題留意事項

2007 サマーFD

長崎大学 薬学部 西田 孝洋

レポート課題の例(薬学部 西田)

学年	科目名	レポート課題内容	提出方法
1年生	情報処理入門	興味がある科目について (項目は例から選ぶ) ※ Web限定公開とピアレビュー	LMS
1年生	薬学入門 (オムニバス)	動物実験について (授業内容と自分の考え・感想を報告)	E-mail添付
2年生	薬剤学 I	サリドマイド薬害について (授業中に5分位のビデオを見せて、 ビデオの内容と自分で調べた情報)	手書き・ 手渡し
4年生	薬剤学実習	実験レポート (必須の考察ポイントを示しておく)	手渡し
大学院生	薬物相互作用 学特論	文献報告レポート (キーワードなど検索方法についても) ※ 中間でプレゼンを行いピアレビュー	E-mail添付

レポート課題の出し方の工夫

➤ テーマ選定

- 学生の興味、将来的な関連、自由選択、ランダム化、etc
- プロダクツを共有して、あとで有効利用

➤ レポート形式の明示

- テンプレート、サンプル、チェックリスト、etc

➤ レポートの趣旨・ねらい

- どんなレポートを期待するかを明示
- 学生からの質問に随時回答して、Q & Aにする

➤ 他人の作品を参考

- 締め切り後に公開
- グループ形式課題(電子掲示板で討議)
- ピアレビュー

テーマ選定で注意すべき点

1. 日頃からの興味、関心が継続する対象であること。
2. 調査、検討意識が強く湧くこと。
3. 学問的価値、オリジナリティーを感じることに。
4. 調査方法(資料類、ツール類)があり、利用できること。
データが集めにくい対象に注意。
5. 実力、時間、費用から見て難しすぎない、対象が大きすぎないこと。
6. 漠然とした、注目する視点が定まらない対象でないこと。
7. 小さすぎないこと(資料・データが見つからない)。
8. 有効な協力が得られること。

レポート回収方法：長所、短所

方法(道具)	個人的感想(○長所・×短所)
手書き	○すぐ採点できる ○コメントを書き込める ○学生の記憶に残る ×乱雑な文字 ×提出が煩雑 ×剽窃
プリントアウト (ワープロ)	○すぐ採点できる ○説得力・表現力 ○コメントを書き込める ×提出が煩雑 ×剽窃
E-mail添付	○いつでも提出可能 ○大まかなコメントの返信 ×ミス・トラブル ×添付ファイルの整理が煩雑 ×剽窃
LMS	○いつでも提出可能 ○ファイル整理が楽 ○×切が厳密 ○ピアレビューや公開が楽 ×ミス・トラブル ×剽窃

手渡し

電子ファイル

レポート評価などのヒント

グループ(4~5人)で作文を**完成**(フィンランドの小学校)

➤ 4~5人でひとつの作文を書く

ピアレビュー、グループ討議

– アイディアを出し合い、話し合いながら書き進める

➤ 班内でのレビュー

– 各人が作文の「いいところ」と「悪いところ」を十個ずつ挙げる

– 「悪いところ」を改善し、全文を書き直す

➤ 班同士のレビュー

– 他のすべての班に、「いいところ」と「悪いところ」を挙げてもらうこともある

出典：図解フィンランド・メソッド入門、北川達夫、経済界

今後の課題・方針

➤ 現状：

- ほとんどの学生は、本格的なレポートの書き方のトレーニングを、これまでに受けていない。

➤ 課題：

最初が肝心

- どのようにして、入学当初に、レポートの書き方の基本、さらにライティング力を身につけさせるか？

➤ 具体的な方策：

- 科目（教養セミナー、情報処理入門、etc）
- 学生向けのレポート作成ガイダンス＋演習
応用情報処理（薬学2年生専門科目）で、レポート作成の実践演習
- 参考書籍の推薦（自学自習）
- 理想は、新規科目「レポート作成術」